

# 様式 1 1

## 指定管理者の評価に係る合議の概要

<b>施設名</b>	箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆり） 箕面市立障害者福祉センター（ささゆり園）
<b>指定管理者名</b>	社会福祉法人あかつき福祉会
<b>開催日</b>	令和5年（2023年）10月26日（木）
<b>開催場所</b>	箕面市立総合保健福祉センター2階 会議室3,4
<b>合議の出席者</b>	箕面手をつなぐ親の会 会長 佐野 奈美氏 箕面市肢体不自由児者父母の会 伊藤 久仁子氏 箕面市障害者市民施策推進協議会 副座長 羽藤 隆氏

【概要】別添のとおり

内容

令和5年10月26日（木）に箕面市立総合保健福祉センター2階3、4会議室にて、指定管理者の合議を実施いたしました。その中で合議メンバーより以下のような意見がありました。

（障害福祉室の説明：「市」、指定管理者の説明：「指」）

1) 箕面市立障害者福祉センターささゆり園について

- ・入浴サービスはもっとたくさんの方が利用することはできないのか。

指) 現在の施設設備と人員体制では、入浴サービスの利用者を増やすことは困難。

- ・生活介護サービスの利用時間延長はなされているのか。

指) 現在4名の利用者に対して延長支援を行っている。

- ・調理室のお皿やコップが無くなり、紙コップでの対応が続いているが、今までの様にお皿やコップを配置しておくことはできないか。

指) 新型コロナウイルスの流行に伴い、衛生面での管理方法を見直し、皿やコップを常時配置しておくべきではないと判断した。ただし、必要な場合は、職員に声をかけてもらえばお出しできる。

- ・看護師以外の職員も喀痰吸引対応ができること、利用者の活動種類や声かけの量が多く、素晴らしい対応をしてくれている。

指) 今後も喀痰吸引や利用者のかたが気持ち良く利用できるよう、職員研修等を通じてスキルアップに努める。

- ・ささゆり園の駐車場が狭いと意見があるが、何台まで対応出来るかを明確にするべき。ささゆり園だけで対応するのは困難と感じている。

指) 駐車場については、白線を追加することで駐車台数を増やしたが、それ以上の台数については対応が困難と考えている。

- ・ささゆり園の印刷機の調子が悪いことなど設備面の問題が見えるが、今後どのように対応するのか。

指) 印刷機については都度修理して使用できる状態を整える。他設備についても都度精査し、優先順位をつけて修繕を行う。

2) 箕面市立障害者自立支援センター（あかつき園・ワークセンターささゆりについて

- ・あかつき園は就労継続支援B型の定員が10名に対して利用者が6名になっているが、収支に問題は無いのか。

# 様式 1 1

指) 就労継続支援B型も生活介護もともに定員割れの状態。新型コロナウイルス感染拡大による影響も大きかったが、ようやく利用者数もコロナ以前にまで回復してきている。

- 利用者家族からの苦情は伝えやすい体制になっているか。

指) 新型コロナウイルス感染の影響で、ご家族が施設内に入れなかったため、連絡帳や個別懇談等でご意見を収集するよう努めた。

- 生活介護は土日利用や時間延長のニーズもあるが、今後検討しているか。

指) ニーズの変化は理解しているが、現時点では土日の利用は検討していない。

### 3) 総評

- 新型コロナウイルスへの対応など、社会環境が変化する中で、十二分に対応してくれており、利用者の満足度は非常に高い。
- 職員に相談しやすく、利用者本人への声かけの量も非常に多い。保護者として安心して預けることができる。
- 本人に必要な日常生活用具や補装具について相談した時も、本人の状態や体の変化は親以上に理解している側面もある。
- 現在の保護者のニーズは、利用者本人が朝早くに外出し、遅くに帰って来てほしいという考えに変わってきている。高齢になってきた保護者も同じ思いを持っているかたが増えてきているため、これに見合ったサービスに変更していく必要がある。
- 障害福祉サービスに求められるニーズはこれまでと大きく変化しており、あかつき福祉会だけで対応できない部分もあると思うが、今後も利用者や保護者の意見を聞き、行政と連携してより良いサービスの提供に努めてもらいたい。

『利用者及び保護者のかたがたのニーズの変化はあるが、現在のサービスには好評を得ているということによろしいか。』

全員) 問題なし